

140	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	129,033,100	140
	事務事業名称	土地取引事務事業					
	事業コスト(千円)	5,145	【うち人件費 4,558 うち減価償却費 444 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	国土利用計画法に基づく土地利用をする届出者						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 申請書類が迅速に処理されています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	国土利用計画法受付件数		36	／	5	件	
	遊休土地調査依頼件数		0	／	6	件	
	公拡法の受付件数		5	／	5	件	
実施内容	1 国土利用計画法に基づく届出を受け付け、関係各課の意見をまとめ県へ報告しました。 ※愛知県から権限移譲を受け平成29年4月から市の業務になりました。						
	実施項目		H30	R1	R2		
	市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）		40	26	26		
	市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）		102	18	10		
合計		142	44	36			
※上記に示す面積規模の利用を図る土地において、各筆を所有する地権者が契約書毎に提出する届出件数							
2 国土利用計画法に基づく遊休土地の利用調査について、県からの依頼はありませんでした。 報告件数 なし							
3 公拡法（公有地の拡大の推進に関する法律）の規定に基づく届出等を受け付け、関係各課の意見等をまとめました。							
実施項目		H30	R1	R2			
公有地の拡大の促進に関する法律第4条の届出件数		5	2	4			
公有地の拡大の促進に関する法律第5条の申出件数		3	5	1			
合計		8	7	5			
事業の評価	妥当性評価	国土利用計画法に基づき行う審査及び県への報告は、権限移譲により市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市の土地動向を把握することができました。					
	効率性評価	届出書等をPDFファイルにして、各関係課へ同時に照会することで、事務の短縮が図られました。					
事業費	左の財源内訳						
	55,723	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	55,723		

141	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	129,033,100	141																																												
	事務事業名称	用地対策事務管理事業																																																	
	事業コスト(千円)	4,063	【うち人件費 3,729 うち減価償却費 123 】																																																
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 国県道用地・関係各課等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 県の用地交渉業務をサポートすることで、国県道用地が確保されます。																																																		
評価指標	指標名	令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位																																														
	用地交渉	4	／	20	回																																														
			／																																																
			／																																																
実施内容	1 国県道等の用地契約締結 県と一体となって地権者との交渉に当たり、国県道の用地契約を締結しました。																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道瀬戸大府東海線</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県道大府常滑線</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県道名古屋碧南線</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国道155号（国道366号関連）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県道東浦名古屋線（森岡地区）</td> <td>—</td> <td>1件</td> <td>86.03㎡</td> </tr> <tr> <td>県道東浦名古屋線（木ノ山地区）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県道東浦名古屋線（半月地区）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>県道東海緑線</td> <td>—</td> <td>3件</td> <td>879.30㎡</td> </tr> <tr> <td>県道名和大府線（田面交差点）</td> <td>1件</td> <td>325.98㎡</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1件</td> <td>325.98㎡</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	H30	R1	R2	県道瀬戸大府東海線	—	—	—	県道大府常滑線	—	—	—	県道名古屋碧南線	—	—	—	国道155号（国道366号関連）	—	—	—	県道東浦名古屋線（森岡地区）	—	1件	86.03㎡	県道東浦名古屋線（木ノ山地区）	—	—	—	県道東浦名古屋線（半月地区）	—	—	—	県道東海緑線	—	3件	879.30㎡	県道名和大府線（田面交差点）	1件	325.98㎡	3件	合計	1件	325.98㎡	7件
路線名	H30	R1	R2																																																
県道瀬戸大府東海線	—	—	—																																																
県道大府常滑線	—	—	—																																																
県道名古屋碧南線	—	—	—																																																
国道155号（国道366号関連）	—	—	—																																																
県道東浦名古屋線（森岡地区）	—	1件	86.03㎡																																																
県道東浦名古屋線（木ノ山地区）	—	—	—																																																
県道東浦名古屋線（半月地区）	—	—	—																																																
県道東海緑線	—	3件	879.30㎡																																																
県道名和大府線（田面交差点）	1件	325.98㎡	3件																																																
合計	1件	325.98㎡	7件																																																
	2 確定申告の支援 道路用地の被買収者を対象に、確定申告日を別途設定し、手続きを支援しました。 確定申告日 令和3年1月29日 対象者 11人 出席者 10人																																																		
	3 用地事務に関する研修 新型コロナウイルス感染症の影響により、用地事務研修会は中止となりました。																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地事務研修</td> <td>1回</td> <td>3回</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>							実施項目	H30	R1	R2	用地事務研修	1回	3回	中止																																				
実施項目	H30	R1	R2																																																
用地事務研修	1回	3回	中止																																																
事業の評価	妥当性評価	国県道用地が確保され、道路整備が推進することにより、市内の交通渋滞が緩和され、安全性も向上するため、市が実施すべき事業です。																																																	
	有効性評価	県との連携を密に行い、市民との調整役になることで、用地交渉業務を円滑に進めることができました。																																																	
	効率性評価	県と一体となって用地交渉を行うことで、円滑に用地契約を締結することができました。																																																	
事業費	左の財源内訳																																																		
	146,280	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
		0	0	0	146,280																																														

142	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	129,033,100	142	
	事務事業名称	財産取得事業						
	事業コスト(千円)	9,792	【うち人件費 8,288 うち減価償却費 316 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 道路及び水路							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が拡充されています。							
評価指標	指標名			令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	寄附採納			18	／	10	件	
	用地買収			8	／	15	件	
実施内容	1 狭あい道路等の解消 道幅の狭い生活道路の拡幅及び隅切り用地を確保することで、緊急車両等の通行が円滑にできるよう、良好な住環境の改善に努めました。 ※狭あい道路整備制度を新設（H27年度より）							
	2 道路用地の取得 市道等の拡幅整備に伴い、道路用地を地権者からの寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。							
	3 道路内民地の解消 道路内に存在する個人名義の土地を、寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。							
	寄附採納							
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	うち狭あい道路用地			
					件数	筆数	面積（㎡）	
	H30	7	12	418.20	3	4	21.50	
	R1	11	18	402.92	3	6	121.37	
	R2	18	47	1567.28	6	12	193.78	
	用地買収							
年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	うち狭あい道路用地			
					件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）
H30	6	8	112.14	3,612,902	5	6	48.76	2,606,974
R1	8	11	69.32	3,784,998	6	8	65.93	3,660,746
R2	8	9	142.43	7,793,465	7	7	121.14	7,660,101
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	土地所有者の理解協力により、適正な道路管理に努めることができました。						
	効率性評価	狭あい道路の申出及び寄附採納願の受理後、迅速に処理を行い、効率的な道路管理を行いました。						
事業費	17,040,033			左の財源内訳				
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
				5,903,000	0	3,847,000 (基金3,847,000)	7,290,033	

主要事業No 103

主要事業No 103

143	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費	目の決算額	129,033,100	143	
	事務事業名称	財産管理事業						
	事業コスト(千円)	809,504	【うち人件費 32,844 うち減価償却費 743,026 】					
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)							
	道路及び水路 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 良好な状態が保たれています。							
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位		
	道路占用・使用許可、承認工事		971	／	970	件		
	道水路境界立会		215	／	300	件		
	廃道・水路の払下げ及び付替え		4	／	10	件		
実施内容	1 道路占用連絡協議会 道路占用連絡協議会を書面形式にて2回開催し、工事期間等の調整を行うことで道路工事の効率化を図りました。 2 道路占用・使用許可(道路法や条例に基づき適正に新規許可、更新事務を行いました。) 3 承認工事(工事の設計、計画について審査承認を行いました。) 4 道路台帳の加除、更新(道路台帳の加除、更新を行いました。) 5 道水路境界立会(現地立会を行い円滑に境界確定事務を進めました。) (桃山地区の不動産登記法14条地図作成業務の境界審査事務を行いました。) 6 廃道・水路の払下げ及び付替え(廃道・水路の払下げ及び付替え事務を行いました。) 7 車両制限令審査(制限値を超える車両通行の可否を審査しました。) 8 街区基準点の管理(測量に使用する街区基準点を適正に維持管理しました。) 各項目の実績							
	実施項目		H30	R1	R2			
	2 道路占用・使用許可件数		836	1,019	894			
	3 承認工事許可件数		74	84	77			
	小計		910	1,103	971			
	4 道路台帳の加除、更新件数		205	63	239			
	5 道水路境界立会件数		291	279	215			
	7 車両制限令審査件数		152	132	121			
	廃道・水路払下げ件数							
	年度	件数	筆数	面積(m ²)	金額(円)			
H30	0	0	0	0				
R1	10	17	899.85	29,651,324				
R2	4	9	143.77	2,113,688				
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市で実施すべき事業です。						
	有効性評価	官民境界審査を行い、使用及び管理に必要な道水路用地の確保ができました。						
	効率性評価	道路占用連絡協議会を開催し、重複工事の解消及び適切な迂回路の調整を図りました。						
事業費	15,650,037		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			0	0	0	15,650,037		

主要事業No 104

主要事業No 104

144	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	目の決算額	432,913,574	144
	事務事業名称	道路維持事業					
	事業コスト(千円)	392,750 【うち人件費 40,277 うち減価償却費 118,103】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 道路、側溝、雨水管、排水ポンプ等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が維持されています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	要望等処理件数		1,887	／	2,000	件	
	舗装修繕面積		6,137	／	3,000	㎡	
	側溝改修延長		1,413	／	1,000	m	
実施内容	1 修繕 道路パトロールや市民通報などにより把握した道路などの破損箇所について迅速に対応し、適正な維持管理を行いました。 市民等からの陳情要望件数						
			H30	R1	R2		
	陳情要望件数		1,164	1,194	1,299		
	対応件数						
			H30	R1	R2		
	作業員対応	道路補修	271	303	341		
		舗装修繕	268	203	331		
		草刈作業	137	200	195		
		浚渫作業	383	288	235		
	小計		1,059	994	1,102		
業者対応	道路補修	280	272	235			
	舗装修繕	136	127	153			
	草刈作業	38	23	38			
	浚渫作業	28	16	22			
小計		482	438	448			
合計		1,541	1,432	1,550			
2 委託 道路の草刈、側溝浚渫、地下道の路面清掃、駅エレベーターの清掃などの保守点検を行い、適正な維持管理を行いました。また、橋梁の点検を行いました。							
事業の評価	妥当性評価	市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理は市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	迅速な道路の修繕に取り組み、安全かつ快適な道路環境の維持を図るとともに市民の要望に応えることができました。					
	効率性評価	道路支障の早期発見のため、市公式ウェブサイト等を通して情報提供を呼びかけ、迅速な修繕を行いました。					
事業費	左の財源内訳						
	432,913,574	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		43,818,000	0	92,310,000 (基金92,110,000)	296,785,574		

144	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	144
	事務事業名称	道路維持事業			
	事業コスト(千円)				
実施内容	(1) 草刈、(2) 側溝浚渫				
		H30	R1	R2	
	定期的草刈委託(入札)	346	339	317	
	暗渠等浚渫委託(単契)	26	29	20	
	小計	372	368	337	
	(3) 施設維持管理				
	ア 地下道などの清掃 (柗山、清蔵、堀越の各地下道、大府駅、共和駅)				
	イ 地下道ポンプ保守 (柗山、清蔵、堀越の各地下道)				
	ウ 地下道電気保守 (柗山地下道)				
	エ 駅エレベーター保守 (大府駅、共和駅)				
	オ 駅エレベーター警備 (大府駅、共和駅)				
	(4) 橋梁点検				
	ア 橋梁定期点検業務委託 江端大橋ほか73橋 (江端町ほか)				
	イ 橋梁定期点検 (JR新幹線橋梁3橋) (負担金)				
	3 工事				
	舗装修繕工事や側溝改修工事、橋梁補修工事を行い、市民が安全に通行出来るよう適正な維持管理を行いました。				
	(1) 舗装修繕工事				
	ア 市道6084号線ほか1路線 (横根町：舗装1,030㎡)				
	イ 市道2339号線 (森岡町：舗装1,770㎡)				
	ウ 市道柗山上清蔵線(第1工区) (R3年度へ繰越し)				
	(2) 側溝改修工事				
	ア 市道4022線線 (共栄町：舗装217㎡、側溝115m)				
	イ 市道4086号線 (梶田町：舗装 71㎡、側溝 44m)				
	ウ 市道西吉川線 (吉川町：舗装 70㎡、側溝 67m)				
	エ 市道4072号線 (梶田町：舗装187㎡、側溝109m)				
	オ 市道6045号線ほか1路線 (神田町：舗装327㎡、側溝185m)				
カ 市道1125号線 (共西町：舗装123㎡、側溝 82m)					
キ 市道平地南屋敷線 (横根町：舗装593㎡、側溝168m)					
(3) 橋梁補修工事					
無名橋026ほか1橋 (月見町ほか)					
(4) 雨水管老朽化に伴う改修工事					
市道4210号線ほか3路線 (桃山町：舗装1,640㎡、側溝607m、雨水管360m)					
(5) 狭あい道路整備工事					
市道4149号線 (追分町：舗装109㎡、側溝36m)					

145	款・項・目	8・2・3	目名称	道路新設改良費	目の決算額	539,405,470	145	
	事務事業名称	補助幹線道路改良事業						
	事業コスト(千円)	53,352	【うち人件費 19,779 うち減価償却費 21,966 】					
事業の目的	<p>対象（何を、誰を対象として）</p> <p>幹線道路との接続道路及び地域の交通量の多い道路（補助幹線道路）</p> <p>目指す成果（対象をどのようにしたいのか）</p> <p>既存道路の拡幅、歩道設置、道路の整備が進み、安全で良好な道路のネットワークが構築されています。</p>							
評価指標	指標名	令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位			
	補助幹線道路の改良済延長の割合	8.4	／	11.7	%			
	歩道整備延長	292	／	450	m			
実施内容	<p>1 市道井田上線 用地買収、物件補償及び歩道設置工事が完了しました。 用地買収 3筆 348.89㎡、物件補償 5件（R1年度から繰越し）、工事 延長L=282m</p> <p>2 市道共和駅東線（共和変電所～県道泉田共和線） 用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 11筆 192.22㎡、物件補償 5件（R1年度から繰越し、R3年度へ繰越し）</p> <p>3 大府駅自由通路 投物防止柵設置工事（R1年度から繰越し）、塗装塗替工事、耐震補強工事及びJR東海への工事負担金による足場設置工事を実施しました。（R3年度へ繰越し）</p> <p>4 市道上原殿田線 用地買収、物件補償及び道路築造工事を実施しました。 用地買収 6筆 1,576.17㎡、物件補償 3件、道路築造工事 橋梁1基（R1年度から繰越し、R3年度へ繰越し）</p> <p>5 市道4073号線 (1) 1期（共和病院西）：道路改良工事（延長L=100m）が完了しました。 (2) 2期（大和機工東）：用地測量、詳細設計、地質調査（R1年度から繰越し）及び物件調査を実施しました。</p> <p>6 市道6010号線（横根平子土地区画整理関連） 用地測量及び詳細設計を実施しました。</p> <p>7 長草1号橋 橋梁耐震補強の予備設計及び地質調査を実施しました。</p> <p>8 名高跨線橋、丸根跨線橋及び上り戸跨線橋 橋梁補修の詳細設計を実施しました。</p> <p>9 公共施設案内標示板 共長出張所及びDAIWA防災学習センターの公共施設案内標示板（1基）を設置しました。</p>							
事業の評価	妥当性評価	市民が安心・安全に道路を利用することができる道路ネットワークの整備は、市民生活の基盤となるため、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	補助幹線道路の整備により、道路網が構築され、スムーズな移動が可能となりました。また、歩道整備により、歩行者の安心・安全を確保することができました。						
	効率性評価	国の交付金及び県の補助金を有効的に活用することや、県事業と連携して整備を進めることにより、効率的な整備促進を図ることができました。						
事業費	左の財源内訳							
	539,405,470	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		64,032,950	0	197,991,283 (基金42,202,000)	277,381,237			

主要事業No 101

主要事業No 101

145	款・項・目	8・2・3	目名称	道路新設改良費	145
	事務事業名称	補助幹線道路改良事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	10	市道7061号線（砂川沿い） 用地測量及び詳細設計を実施しました。			
	11	市道大府本町線 用地測量、用地買収（2筆 12.08㎡）及び歩道設置工事（延長L=10m）を実施しました。			
	12	都市計画道路大府東浦線関連 愛知県からの公共補償による用地買収（2筆 564.77㎡）を実施しました。（R1年度から繰越し）			
	13	都市計画道路瀬戸大府東海線関連（明神川南側う回路） 工事負担金による愛知県の市道改良工事が完了しました。			
	14	HASSIN BRIDGE（共和人道橋） 橋梁補修の詳細設計を実施しました。			

146	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費	目の決算額	165,080,229	146																																						
	事務事業名称	河川維持事業																																											
	事業コスト(千円)	53,427	【うち人件費 9,986 うち減価償却費 2,639 】																																										
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																																												
	河川施設等 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																																												
評価指標	指標名		令和2年度実績値		／	令和2年度計画値	単位																																						
	河川の草刈面積(単年度)		80,098		／	87,000	m ²																																						
実施内容	河川の草刈りや施設等の修繕を実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。																																												
	1 河川の草刈り																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">草刈委託(定期)</th> <th colspan="2">単価契約(緊急)</th> <th colspan="2">草刈委託(単年度)</th> <th rowspan="2">合計面積</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>面積</th> <th>件数</th> <th>面積</th> <th>件数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>17か所</td> <td>74,380m²</td> <td>3か所</td> <td>1,146m²</td> <td>1か所</td> <td>9,060m²</td> <td>84,586m²</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>14か所</td> <td>81,360m²</td> <td>1か所</td> <td>560m²</td> <td>0か所</td> <td>0m²</td> <td>81,920m²</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15か所</td> <td>79,680m²</td> <td>1か所</td> <td>418m²</td> <td>0か所</td> <td>0m²</td> <td>80,098m²</td> </tr> </tbody> </table>							年度	草刈委託(定期)		単価契約(緊急)		草刈委託(単年度)		合計面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	H30	17か所	74,380m ²	3か所	1,146m ²	1か所	9,060m ²	84,586m ²	R1	14か所	81,360m ²	1か所	560m ²	0か所	0m ²	81,920m ²	R2	15か所	79,680m ²	1か所	418m ²	0か所	0m ²	80,098m ²
	年度	草刈委託(定期)		単価契約(緊急)		草刈委託(単年度)			合計面積																																				
		件数	面積	件数	面積	件数	面積																																						
	H30	17か所	74,380m ²	3か所	1,146m ²	1か所	9,060m ²	84,586m ²																																					
	R1	14か所	81,360m ²	1か所	560m ²	0か所	0m ²	81,920m ²																																					
	R2	15か所	79,680m ²	1か所	418m ²	0か所	0m ²	80,098m ²																																					
	2 河川施設等の修繕等																																												
	(1) 修繕・浚渫等の件数																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>修繕</th> <th>浚渫, 伐採等(単価契約)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>10件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	修繕	浚渫, 伐採等(単価契約)	H30	10件	13件	R1	24件	9件	R2	8件	13件																											
年度	修繕	浚渫, 伐採等(単価契約)																																											
H30	10件	13件																																											
R1	24件	9件																																											
R2	8件	13件																																											
河川維持管理委託、工事																																													
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>河川伐採委託</td> <td>半月川他</td> <td>伐採工N=56本</td> </tr> <tr> <td>河川浚渫委託</td> <td>延命寺川</td> <td>浚渫工V=30m³</td> </tr> <tr> <td>河川景観改良工事</td> <td>石根川</td> <td>防護柵工L=84m</td> </tr> <tr> <td>河川景観改良工事</td> <td>長草川</td> <td>防護柵工L=120m</td> </tr> </tbody> </table>							河川伐採委託	半月川他	伐採工N=56本	河川浚渫委託	延命寺川	浚渫工V=30m ³	河川景観改良工事	石根川	防護柵工L=84m	河川景観改良工事	長草川	防護柵工L=120m																											
河川伐採委託	半月川他	伐採工N=56本																																											
河川浚渫委託	延命寺川	浚渫工V=30m ³																																											
河川景観改良工事	石根川	防護柵工L=84m																																											
河川景観改良工事	長草川	防護柵工L=120m																																											
(2) 苦情要望等の件数																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>浚渫</th> <th>草刈伐採</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>84件</td> <td>3件</td> <td>41件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>90件</td> <td>6件</td> <td>45件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>68件</td> <td>9件</td> <td>37件</td> <td>22件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	H30	84件	3件	41件	40件	R1	90件	6件	45件	39件	R2	68件	9件	37件	22件																			
年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																																									
H30	84件	3件	41件	40件																																									
R1	90件	6件	45件	39件																																									
R2	68件	9件	37件	22件																																									
3 河川水位監視システムの維持管理																																													
(1) 河川水位監視システム点検 水位計(8台): 年5回、監視カメラ(3台): 年1回																																													
(2) 河川水位システムの更新のため機器及びシステムの交換工事を実施しました。 水位計8台、雨量計1台																																													
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境の保持を図るため、河川施設等を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																																											
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保持を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																																											
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。																																											
事業費	左の財源内訳																																												
	61,891,360	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		0	0	0	61,891,360																																								

147	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費	目の決算額	165,080,229	147																				
	事務事業名称	水路等維持事業																									
	事業コスト(千円)	77,195	【うち人件費 9,926 うち減価償却費 309 】																								
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																										
	水路施設等 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																										
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位																					
	水路等の草刈面積(単年度)		10,810	/	11,000	㎡																					
	水路等の防草対策面積(単年度)		322	/	500	㎡																					
実施内容	1 水路等の草刈り 水路等の草刈りや水路、調整池等及び排水機場の適切な管理を実施することで、良好な維持管理及び環境美化を図りました。 東工区 1回目5,180㎡ 西工区 1回目2,970㎡ 2回目1,130㎡ 2回目1,530㎡ 合計10,810㎡																										
	2 水路、調整池等の管理 (1) 修繕・浚渫等の件数 R2:修繕32件、浚渫・草刈・伐採等(単価契約)39件 (2) 苦情要望等の件数																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>浚渫</th> <th>草刈伐採</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>190件</td> <td>31件</td> <td>83件</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>201件</td> <td>38件</td> <td>83件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>257件</td> <td>38件</td> <td>99件</td> <td>120件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	H30	190件	31件	83件	76件	R1	201件	38件	83件	80件	R2	257件	38件	99件	120件
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																						
	H30	190件	31件	83件	76件																						
	R1	201件	38件	83件	80件																						
	R2	257件	38件	99件	120件																						
	(3) 水路等維持管理委託、工事 ア 水路伐採委託 北崎新川水路、杵口水路 伐採N=14本 草刈面積A=180㎡ イ 水路浚渫委託 殿前水路 浚渫V=15.6m³ ウ 水路改良工事 城ノ内東水路、上荒田水路、植松水路、朝日町一丁目水路、家下水路 張りコンクリート工A=101.4㎡ 防草シート設置工A=220.6㎡ エ 浮上対応工事 アラタ公園貯留施設 浮上対応工N=1か所																										
	3 排水機場の工事 電気設備更新工事 横根川排水機場 タイマーリレー8個、速度スイッチ2個、真空遮断器1台																										
	4 土地改良施設維持管理適正化事業 五ヶ村川第3排水機場遊水池浚渫工事 土砂浚渫 V=303m³																										
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境保全を図るため、水路、調整池、治水ため池及び排水機場を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																									
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保全を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																									
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。																									
事業費	左の財源内訳																										
	103,188,919	国県支出金	地方債	その他	一般財源																						
		9,365,000	0	27,873,503	65,950,416																						

148	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費	目の決算額	9,833,544	148
	事務事業名称	総合排水計画事業					
	事業コスト(千円)	5,786	【うち人件費 5,548 うち減価償却費 172 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	雨水貯留施設 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 雨水が貯留され、河川への流出が抑制されています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	雨水流出抑制対策済量		174,906	/	169,794	m ³	
				/			
実施内容	1 大府市総合排水事業促進会議 大府市総合排水計画の円滑な推進を図るため、関係各課と事業調整等を行いました。(2回開催)						
	2 特定都市河川浸水被害対策法(河川新法) 特定都市河川浸水被害対策法の関連事務を愛知県及び流域12市町で進めました。						
	(1) 雨水浸透阻害行為許可申請事務の受付(書類受付、開発者の指導、完了検査立会い)						
		受付件数	完了件数	対策量			
	H30	49件	25件	2,198m ³			
	R1	43件	38件	5,834m ³			
	R2	41件	20件	2,920m ³			
	(2) 保全調整池の指定について、愛知県と連携を図りました。						
	3 雨水貯留施設の整備						
	(1) 令和2年度 市で実施した雨水貯留浸透対策の実績						
	種別	目標	実績	備考			
	各戸貯留	29m ³	3m ³	雨水貯留浸透施設設置補助			
	透水性舗装	4m ³	4m ³	市道井田上線			
	貯留施設	313m ³	320m ³	市道井田上線、消防共長出張所			
	合計	346m ³	327m ³				
(2) 年度別の雨水流出抑制対策済量							
	年度	市	民間	累計(市+民間)			
	H30	3,447m ³	2,198m ³	166,135m ³			
	R1	128m ³	5,720m ³	171,983m ³			
	R2	327m ³	2,596m ³	174,906m ³			
4 総合治水の市民への周知 広報掲載:5月号 懸垂幕掲示:5月15日~21日							
事業の評価	妥当性評価	行政、民間事業者、市民が協力して進めている雨水流出抑制対策において、総合排水計画の目標値の達成のためには、市が先導して推進していくべき事業です。					
	有効性評価	雨水流出抑制対策を継続的に推進しており、着実に総合治水対策を進めることができます。また、民間事業者や、市民に対してもこの取組のPRを行っています。					
	効率性評価	行政だけでなく、民間事業者や市民に協力していただき、効率的に雨水流出抑制対策施設を整備することができます。					
事業費	0		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			0	0	0	0	

主要事業No 80

主要事業No 80

149	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費	目の決算額	9,833,544	149
	事務事業名称	水路整備事業					
	事業コスト(千円)	4,443	【うち人件費 3,419 うち減価償却費 964 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	未改修及び断面不足の水路						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 順次、計画的に整備し、断面不足等の解消が行われています。						
評価指標	指標名			令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位
	当該年度水路整備延長			61	/	64	m
					/		
					/		
実施内容	1 工事等負担金						
	<p>(1) 湛水防除事業 横根川排水機場（県営事業） 横根川排水機場の建替えの費用のうち市負担分（1%）の負担金を支出しました。 負担金額 99,999,600円×1%=999,996円</p> <p>(2) 大府PA関連水路整備工事 自由勾配式側溝布設 L=60.7m 大府PA新設に関連する水路布設工事について、事業の効率化を図るため、愛知県道路公社の工事と一体的に行い、工事負担金を支出して工事を行いました。 負担金額 6,744,540円</p>						
事業の評価	妥当性評価	水路整備については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。					
	有効性評価	水路等整備を実施することで、関連機関が実施する事業が推進され治水安全度の向上を図ることができました。					
	効率性評価	水路整備を関連機関と連携して実施することで事業の効率化を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	9,569,046	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	1,824,510	7,744,536		

主要事業No 81

主要事業No 81

150	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費	目の決算額	105,316,521	150
	事務事業名称	都市計画推進事業					
	事業コスト(千円)	32,474	【うち人件費 18,038 うち減価償却費 628 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを行うことにより、いつまでも住み続けたいと実感しています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	都市計画の決定及び変更件数累計		6	／	6	件	
	市街化区域の累計面積		1,353	／	1,353	ha	
				／			
実施内容	1 都市計画審議会を開催し、区域区分、地区計画、生産緑地地区等の都市計画の変更を行いました。それに伴い、都市計画閲覧システム（GIS）のデータ変更を行いました。 都市計画の決定及び変更件数累計（令和2年度から） 令和2年度：6件 生産緑地地区面積 平成30年度：18.9ha 令和元年度：17.9ha 令和2年度：17.7ha						
	2 過去の都市計画基本図及び航空写真画像を電子化し、貴重な図面データの保全を図りました。						
	3 北山地区において、大府北山特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、用途地域の変更及び地区計画の決定の都市計画手続きを行いました。						
	4 木の山西部地区において、工場や物流施設等の受け皿となる新たな産業地の形成を図るため、区域区分の変更、用途地域の変更及び地区計画の決定の都市計画手続きを行いました。						
	5 大府市空家等対策計画に基づき、大府市空家等対策協議会（3回）を開催し、老朽度や管理不全度が高い空家の状況報告及び今後の対応について、協議しました。						
	6 愛知県司法書士会と連携、協力し、空家等の対策を推進するため、「大府市における空家等対策の連携協力に関する協定」を締結しました。						
事業の評価	妥当性評価	良好な土地利用を推進していく上で、区域区分や都市施設などの都市計画決定の変更手続きは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	将来の土地利用計画に基づき適正な土地利用が図られることは、都市計画マスタープランのまちづくり目標を達成する上で有効です。					
	効率性評価	土地所有者の協力や民間開発などの活用を図ることで、土地利用の推進を効率的に行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	13,696,758	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	13,696,758		

主要事業No 95

主要事業No 95

151	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費	目の決算額	105,316,521	151
	事務事業名称	都市景観推進事業					
	事業コスト(千円)	12,094	【うち人件費 8,649 うち減価償却費 301 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 潤いのある空間づくりを行い、市民の景観に対する意識が高まっています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	おおぶ50景関連事業件数		1	／	1	件	
				／			
実施内容	1 景観形成の基本的な方針等を定める大府市景観計画の策定を進めました。また、策定に当たり、大府市景観計画策定委員会（2回）を開催しました。（令和3年度策定予定）						
	2 市制50周年を記念して、大府市内の魅力あふれる風景を募集し、投票が多かった上位50風景を「大府50景」として選定を進めました。市公式ウェブサイトに投票専用ページを設けることで幅広く募集しました。						
	3 屋外広告物設置に関する許可等の手続きを行いました。 許可件数 平成30年度：99件 令和元年度：119件 令和2年度：139件						
	4 9月に屋外広告物のパトロールを実施し、違反簡易屋外広告物の除却を行いました。						
	5 屋外広告物事業として、愛知県、愛知県広告美術業協同組合及び共和駅周辺まちづくり委員会と共同で、共和駅周辺の「街歩き」を11月に行いました。屋外広告物を観察し、意見交換を行うことで、屋外広告物についての理解を深め、官民連携による適正化を推進しました。						
事業の評価	妥当性評価	本市の多様な景観を五感で感じられる、心身ともに健康なまちづくりを進めることは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	本市の良好な景観の形成や保全に関する基本的な方針等を定める計画である「大府市景観計画」の策定に当たり、景観計画策定委員会を開催することで有識者や市民の意見を反映させながら、進めることができました。					
	効率性評価	「おおぶ50景」の選定に当たり、市公式ウェブサイトに投票専用ページを設けることで、幅広く、かつ効率的に本市の魅力あふれる風景を募集することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	3,092,455	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	3,092,455		

主要事業No 96

主要事業No 96

152	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費	目の決算額	105,316,521	152
	事務事業名称	駅周辺にぎわい創出事業					
	事業コスト(千円)	14,340	【うち人件費 9,820 うち減価償却費 341 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民、駅利用者						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 利用者及び地域の人たちが訪れたいと実感しています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	駅周辺まちづくり会議等の開催回数		7	/	8	回	
				/			
実施内容	1 駅周辺のまちづくり						
	<p>(1) 大府駅周辺 大府駅周辺まちづくり計画の策定に向けて、学識者、地元事業者等を委員とする「大府駅周辺まちづくり検討会議」を3回開催し、大府駅周辺地域の活性化を促進するための検討を行いました。</p> <p>(2) 共和駅周辺 ア 共和駅周辺まちづくり委員会を4回開催し、地域と連携した駅周辺の活性化について検討しました。 イ 地域や地元企業と連携して、共和夢通り(市道大府共和線)、共和駅前周辺の清掃活動を行いました。</p>						
事業の評価	妥当性評価	駅周辺のにぎわい創出は、持続可能なまちづくりを進めるため、官民連携による継続的な活動を必要とする事業です。					
	有効性評価	大府駅周辺まちづくり検討会議を開催し、まちづくりに関する意見交換を行うことで、駅周辺のにぎわい創出に向けた機運を高めることができました。					
	効率性評価	学識者、地元事業者、地権者等で構成された委員会においての多様な意見を集約することで、効率的に事業を進めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	4,119,420	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	4,119,420		

153	款・項・目	8・4・2	目名称	街路事業費	目の決算額	93,764,114	153	
	事務事業名称	幹線道路整備事業						
	事業コスト(千円)	39,427	【うち人件費 18,822 うち減価償却費 15,685 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市及び県が管理する市内の幹線道路（都市計画道路）							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 渋滞の解消、目的地への移動時間の短縮、交通事故の防止、歩行者の安全性向上、災害時の緊急輸送路の確保、広域的な車両の流動性の向上などができています。							
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位		
	幹線道路の整備済延長の割合		3.7	／	12.4	%		
	歩道整備延長		120	／	680	m		
	国県への要望回数		22	／	20	回		
実施内容	<p>1 県道横根大府線 用地買収、物件補償及び歩道設置工事を実施しました。 用地買収 10筆 150.79㎡、物件補償 10件（R1年度から繰越し、R3年度へ繰越し）、工事延長L=120m</p> <p>2 都市計画道路養父森岡線 (1) 1期（東海市境～石ヶ瀬川） 用地買収及び道路改良工事を実施しました。 用地買収 1筆 76.09㎡、工事 延長L=260m、道路幅員W=16m（R3年度へ繰越し） (2) 2期（石ヶ瀬川～県道東浦名古屋線） 用地測量及び詳細設計を実施しました。</p> <p>3 都市計画道路松山大府線（市道上原殿田線～県道名古屋碧南線） 待避所設置のための用地交渉及び電柱の移設補償を実施しました。 電柱移設補償 1基（R1年度から繰越し）</p> <p>4 みちづくり基金 基金の積立てを行うとともに、幹線道路整備等のために取り崩しました。 積立金 880千円、取崩し 186,528千円</p> <p>5 愛知県が施行する都市計画道路等の整備促進 (1) 瀬戸大府東海線：横根町後田交差点から惣作交差点までの区間で工事を実施し、豊明市境から折戸交差点までの区間の整備が完了しました。 (2) 大府東浦線：国道155号から市道ウド線までの区間で工事及び物件補償を実施しました。 (3) 東海有松線：本郷交差点から東海市境までの区間で用地買収を実施しました。 (4) 名和大府線：田面交差点の用地交渉を実施しました。</p>							
事業の評価	妥当性評価	幹線道路は、まちづくりにおける都市基盤としての機能を担うため、県と市が協力して実施すべき事業です。						
	有効性評価	幹線道路の整備により道路網が構築され、交通の流れがスムーズになります。また、歩道の整備により、歩行者の安全が確保されます。						
	効率性評価	国の交付金及びみちづくり基金を有効に活用して効率的に事業を進めることができました。						
事業費	左の財源内訳							
	93,764,114	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		15,565,000	0	68,175,781 (基金48,369,000)	10,023,333			

主要事業No 100

主要事業No 100

154	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	563,308,876	154																																										
	事務事業名称	二ツ池セレトナ運営事業																																															
	事業コスト(千円)	30,683	【うち人件費 4,564 うち減価償却費 4,751 】																																														
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 二ツ池セレトナを利用して、大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を持てるようにします。																																																
評価指標	指標名	令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位																																												
	二ツ池セレトナ入場者数	31,050	／	25,000	人																																												
	セレトナ学習室利用件数	113	／	120	件																																												
	講座参加者数	1,402	／	3,500	人																																												
実施内容	1 二ツ池セレトナ及び二ツ池公園グラウンドの効率的な運営及び適正な維持管理 指定管理者の創意工夫とノウハウを活用して、市民が自然と触れ合い学ぶことができる学習の機会を提供するとともに、施設の効率的かつ適切な維持管理・運営を図りました。 （指定管理期間：平成29年度～令和3年度） 2 イベントや講座などの開催 多くの市民が自然と触れ合い体験できる場として、イベントや自然観察会などの講座を実施しました。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二ツ池セレトナ入場者数</td> <td>40,646人</td> <td></td> <td>35,909人</td> <td></td> <td>31,050人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セレトナ学習室利用件数</td> <td>157件</td> <td>3,785人</td> <td>192件</td> <td>5,308人</td> <td>113件</td> <td>1,600人</td> </tr> <tr> <td>デイキャンプ利用数</td> <td>117件</td> <td>3,490人</td> <td>95件</td> <td>4,149人</td> <td>67件</td> <td>1,415人</td> </tr> <tr> <td>講座参加者数</td> <td>102回</td> <td>6,147人</td> <td>80回</td> <td>3,872人</td> <td>91回</td> <td>1,402人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド利用者数</td> <td>401件</td> <td>9,960人</td> <td>342件</td> <td>8,789人</td> <td>316件</td> <td>7,799人</td> </tr> </tbody> </table> 3 情報の発信 広報おおぶ、市公式ウェブサイト及びフリーペーパーにより、積極的に情報発信を行いました。								H30		R1		R2		二ツ池セレトナ入場者数	40,646人		35,909人		31,050人		セレトナ学習室利用件数	157件	3,785人	192件	5,308人	113件	1,600人	デイキャンプ利用数	117件	3,490人	95件	4,149人	67件	1,415人	講座参加者数	102回	6,147人	80回	3,872人	91回	1,402人	グラウンド利用者数	401件	9,960人	342件	8,789人	316件	7,799人
	H30		R1		R2																																												
二ツ池セレトナ入場者数	40,646人		35,909人		31,050人																																												
セレトナ学習室利用件数	157件	3,785人	192件	5,308人	113件	1,600人																																											
デイキャンプ利用数	117件	3,490人	95件	4,149人	67件	1,415人																																											
講座参加者数	102回	6,147人	80回	3,872人	91回	1,402人																																											
グラウンド利用者数	401件	9,960人	342件	8,789人	316件	7,799人																																											
事業の評価	妥当性評価	水と緑に恵まれた環境の中で、市民に自然体験学習の機会を提供する施設の運営は、市が実施すべき事業です。																																															
	有効性評価	施設の利用制限が生じ開館期間は短縮となりましたが、講座参加者のアンケート結果での満足度は非常に高く、事業の効果は上がっています。																																															
	効率性評価	施設の運営に指定管理者制度を導入したことで、様々な工夫により学習室などの利用者数が大きく増加し、効果的な施設運営を効率的に行うことができています。																																															
事業費	左の財源内訳																																																
	21,233,122	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																												
		0	0	0	21,233,122																																												

155	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	563,308,876	155
	事務事業名称	公園整備事業					
	事業コスト(千円)	46,295	【うち人件費 8,299 うち減価償却費 37,002 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 憩いの場となる公園を整備することで、安全で快適な時間を過ごしています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	都市公園面積		98.9	／	98.9	ha	
				／			
実施内容	<p>1 川池親水空間整備工事（1.0ha） 平成29年度にワークショップ形式により地域住民と共に策定した基本構想を基にして、治水安全度を確保しながら緑や潤いを感じ、運動できる公園を整備しました。（2か年事業） （令和3年3月供用開始）</p> <p>2 辰池公園整備（0.05ha） 辰池周辺の公園化の一環として堤防下にワークショップによる地域の意見を基に幼児が遊べる遊具を備えた広場を整備しました。（令和2年9月供用開始）</p> <p>3 横根立会池広場公園整備 横根立会池の広場公園化に向けた測量設計を行いました。</p> <p>4 ニツ池公園（セレクトナ南里山林整備） ニツ池公園に隣接する里山林の整備に向けて用地測量等を行いました。</p> <p>都市公園面積（合計） H30：96.6ha R1：97.9ha R2：98.9ha</p>						
事業の評価	妥当性評価	快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市民の憩いの場である公園を整備することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	公園や親水空間の整備内容について、住民参加のワークショップ形式によって計画づくりをすることにより、周辺住民の意見調整が図られました。					
	効率性評価	地元住民の十分な理解と協力のもと事業が効率的に進められ良好で魅力的な住環境を整備することができます。					
事業費	左の財源内訳						
	270,287,464	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	153,000,000	33,975,000	83,312,464		

主要事業No 108

主要事業No 108

156	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費	目の決算額	563,308,876	156
	事務事業名称	公園等施設管理事業					
	事業コスト(千円)	327,922	【うち人件費 8,299 うち減価償却費 144,544 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市民						
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 公園施設を適切に維持管理することで身近に緑が感じられ、安全で快適に過ごすことができる空間として、市民の満足度が向上しています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	公園管理面積		97.9	/	97.6	ha	
				/			
				/			
実施内容	1 公園の快適な環境を保つため、ごみ拾い、トイレ清掃、除草などを実施しました。						
	2 公園遊具の安全性を確保するため、公園遊具の保守点検を実施しました。						
	3 公園などの水景施設が安定して稼働できるよう、施設の保守点検を実施しました。						
	4 公園を良好な状態に保つことができるように、公園の施設や遊具の修繕を実施し、適切な維持管理を行いました。 公園管理面積(合計) H30:96.6ha R1:96.6ha R2:97.9ha (1) 四阿屋根葺材取替(瀬戸池公園、海陸庵公園、砂川緑道、石ヶ瀬川緑道) (2) 公園照明灯更新(瀬戸池公園、高見公園)						
	5 公園施設長寿命化対策工事(社会資本整備総合交付金) 公園施設長寿命化計画に基づき、利用者の意見などを反映させ、遊具を更新しました。 (1) 向畑公園 (2) 茶屋公園 (3) 若草公園 (4) 森岡平子公園 (5) 海陸庵公園 (6) 花咲台公園 (7) 神明公園						
	6 公園維持管理工事 大府みどり公園を快適に利用できるよう、施設の防水対策とトイレの洋式化を行いました。 (1) 大府みどり公園管理事務所及び噴水前トイレ防水工事 (2) 大府みどり公園噴水前トイレ洋式化工事						
	7 公園利用の充実を図るため、川池公園と澄池公園にバスケットゴールを設置しました。						
	8 公園などでのトラブルを未然に防止するために、鞍流瀬川緑道(飛び石周辺)とニツ池公園(平戸池周辺)に防犯カメラを設置しました。						
	9 木の山ポケットパークに寄贈された健康都市モニュメントに照明を設置しました。						
事業の評価	妥当性評価	市民の憩いの場である公園について、公園施設等の状況を正確に把握し、日常管理や修繕等を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	定期的に公園の維持管理を行うとともに、市民の要望等に対して迅速に対応することにより、安全で安心して利用できる市民の憩いの場を提供することができました。					
	効率性評価	職員や委託業者による巡回や遊具点検の他、市民団体などからの報告によって施設の劣化状況を正確に把握することにより、効率的に修繕を実施しました。					
事業費	225,848,089		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			14,500,000	0	7,900,308	203,447,781	

主要事業No 109

主要事業No 109

157	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	365,149,745	157																																			
	事務事業名称	緑化推進事業																																								
	事業コスト(千円)	25,274	【うち人件費 5,809 うち減価償却費 2,180 】																																							
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)																																									
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 緑を増やすことにより、潤いと安らぎを感じています。																																									
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位																																				
	緑地面積		61,182	/	61,182	㎡																																				
	保全地区面積		3.96	/	3.96	ha																																				
実施内容	1 民有地の緑化推進として愛知県都市緑化基金を活用し、公有地や民有地の緑化を充実させることにより、緑あふれるまちづくりを推進しました。																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信託木配布</td> <td>4種</td> <td>255本</td> <td>4種</td> <td>268本</td> <td colspan="2">中止</td> </tr> <tr> <td>保全地区</td> <td>13か所</td> <td>3.96ha</td> <td>13か所</td> <td>3.96ha</td> <td>13か所</td> <td>3.96ha</td> </tr> <tr> <td>保存樹木</td> <td colspan="2">108本</td> <td colspan="2">107本</td> <td colspan="2">107本</td> </tr> <tr> <td>花いっぱい運動</td> <td colspan="2">128か所 4回植替え</td> <td colspan="2">128か所 4回植替え</td> <td colspan="2">128か所 4回植替え</td> </tr> </tbody> </table>							事業名称	H30		R1		R2		信託木配布	4種	255本	4種	268本	中止		保全地区	13か所	3.96ha	13か所	3.96ha	13か所	3.96ha	保存樹木	108本		107本		107本		花いっぱい運動	128か所 4回植替え		128か所 4回植替え		128か所 4回植替え	
	事業名称	H30		R1		R2																																				
	信託木配布	4種	255本	4種	268本	中止																																				
	保全地区	13か所	3.96ha	13か所	3.96ha	13か所	3.96ha																																			
	保存樹木	108本		107本		107本																																				
	花いっぱい運動	128か所 4回植替え		128か所 4回植替え		128か所 4回植替え																																				
	2 緑の募金を実施し、緑化に対する市民意識の高揚を図りました。(4月、5月)																																									
	3 みどりの少年団の活動を通して、市内の小学生に緑化の大切さを理解してもらう機会を提供しました。 (令和2年度 神田小学校、北山小学校)																																									
	4 愛知県が実施するあいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金を活用し、市内の緑化を推進しました。 (1) 市民参加の植樹祭等により、道路の植樹帯や公共施設などに緑化整備を行いました。 ①共長出張所 ②柘山大府線 ③鞍流瀬川緑道 ④川池公園 ⑤大府中学校 (2) 交付金の基準を満たした優良な民有地緑化に支援を行いました。																																									
5 緑化推進委員会を開催し(3回)、緑の基本計画の進捗管理や緑の保全を図るとともに、緑化の推進について協議しました。																																										
6 緑の保全及び緑化推進の基礎となる「大府市緑の基本計画」を策定しました。(令和2年9月)																																										
7 市内のサクラの名所や開花時期、関連したイベント等の情報を掲載した「サクラMAP」を作成しました。 (令和2年9月)																																										
事業の評価	妥当性評価	緑あふれるまちづくりを進めるため、緑化推進や緑の保全を図るとともに、市民が緑に親しむことのできる機会を提供することは、市が市民と協働で実施すべき事業です。																																								
	有効性評価	民有地の緑化とともに、市民参加による公有地の緑化を行うことにより、多くの市民に緑とのふれあいの機会を提供し、緑化の推進を図ることができました。																																								
	効率性評価	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業及び愛知県都市緑化基金を活用し、効率的に事業を実施することができました。																																								
事業費	25,728,949		左の財源内訳																																							
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																																				
			13,527,000	0	409,243	11,792,706																																				

158	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	365,149,745	158
	事務事業名称	緑道整備事業					
	事業コスト(千円)	18,523	【うち人件費 5,809 うち減価償却費 12,391 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市民 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 歩行者などが安全に緑を感じながら移動することができます。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	緑道延長(合計)		19,991	/	20,045	m	
				/			
実施内容	1 鞍流瀬川緑道整備(共和橋) 共和駅西の共和橋右岸左岸の河川管理用道路を活用し、緑道の測量設計及び工事を行いました。 ・左岸 幅員 2.4m 延長 94m 照明 7基他 ・右岸 幅員 2.4m 延長 77m 照明 5基他						
	2 石ヶ瀬川緑道整備(石ヶ瀬川人道橋～平成橋、深田) 河川管理用道路を活用した緑道の測量設計を行い、一部区間の工事を実施しました。 石ヶ瀬人道橋～平成橋 ・右岸 幅員 2.4m 延長 248m 照明 16基他 緑道延長(合計) H30:18,695m R1:19,572m R2:19,991m						
事業の評価	妥当性評価	河川管理用道路において、市民が水と緑に親しみながら安全に散策できる緑道を整備することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	緑道を整備することにより、安全に散策できる歩道ネットワークの形成を図ることができました。					
	効率性評価	河川用地を活用することにより、新たに用地を取得することなく、効率的に緑道を整備することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	134,764,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	61,460,000	73,304,000		

主要事業No 107

主要事業No 107

159	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	365,149,745	159
	事務事業名称	市民緑化推進事業					
	事業コスト(千円)	7,289	【うち人件費 3,319 うち減価償却費 110 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 多くの市民が緑の保全及び緑化を推進する参加することで、緑や花に親しみと充実感を得ています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	民有地緑化制度を活用した植栽本数		899	/	2,000	本	
				/			
実施内容	市民との協働による緑と花のあふれるまちづくりを推進するため、大府市緑化基金を活用して、各種事業を実施しました。						
	1 提案型緑花推進事業 市民団体などが提案する緑花事業計画に基づく緑化事業 H30：4団体 R1：4団体 R2：0団体（新型コロナウイルス感染症防止対策で中止）						
	2 民有地緑化制度等を活用した植栽 (1) 民有地緑化制度を活用した植栽 H30：2,350本 R1：866本 R2：488本 (2) 民有地緑化のため入学や新築など10項目の記念に樹木を配布する事業 H30：258本 R1：260本 R2：411本						
	3 学校シンボルツリー・シンボルフラワー事業 市内全小中学校の児童生徒に、緑の大切さや学校への愛着心を育ててもらうための学校緑化を行いました。						
	4 市民の森づくり事業 市民の森実行委員会及び二ツ池セレクトナと連携して、二ツ池公園の緑の保全を行いました。						
	5 緑のまちづくり事業 公園緑地などに設置の花壇や緑地などを市民と協働で管理し、潤いと安らぎの空間を提供しました。						
	6 シビックガーデンコンテスト事業 緑と花にあふれるまちづくりを啓発するため、緑化コンクールを開催しました。 H30：22件 R1：28件 R2：24件						
事業の評価	妥当性評価	市民との協働による緑あふれるまちづくりを進めるため、市民団体等の緑化推進に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民団体等の取組に対し、効果的に支援することにより、緑化に関する意識を多くの市民や地域に浸透させることができました。					
	効率性評価	緑化基金を活用し、市民との協働により、効果の高い緑化推進事業を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	3,842,189	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	3,817,110 (基金3,800,000)	25,079		

主要事業No 110

主要事業No 110

160	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費	目の決算額	365,149,745	160	
	事務事業名称	緑花維持管理事業						
	事業コスト(千円)	202,297	【うち人件費 7,883 うち減価償却費 4,788 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 緑地等の適切な維持管理を行い、身近に緑が感じられる空間として、安全で快適に過ごすことができることにより、緑化などに対する市民の満足度が向上しています。							
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位		
	竹林の保全箇所数		0	／	0	箇所		
	アサギマダラの飛来数		10	／	10	頭		
				／				
実施内容	1 緑地等の維持管理 公園、緑地、緑道などを適切に維持管理し、良好な状態に保ちました。 (1) 公園、緑地、緑道の草刈り・清掃等を実施しました。 (2) 街路樹、公園、緑地等に、サクラ、ツツジ等の補植をしました。							
	2 桃山地区桜保全事業 桃山地区の桜保全のため、平成29年度に実施した桜の診断結果を踏まえ、枯枝撤去や薬剤注入、防腐剤塗布など樹木の保全を行いました。							
	3 竹林の小径（こみち）整備 矢戸川緑道に隣接する竹林の小径の整備に向け、測量・設計等を行いました。（0.5ha）							
	4 フジバカマ植栽 ニツ池公園に市民パートナーシップによりフジバカマの花壇を設置し、アサギマダラが飛来しました。							
	5 鞍流瀬川モデル地区（新橋～江端大橋）の維持管理 新橋から江端大橋までの鞍流瀬川沿いの区間において、河川を活用したまちづくりのモデル地区と位置付け、堤防法面の草刈り・清掃等の維持管理を行いました。 草刈り面積 27,000㎡							
事業の評価	妥当性評価	市民との協働により緑あふれるまちづくりを進めるため市民団体等の緑化に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	市民と協働で推進することにより市民の緑化意識の醸成や市民参加による緑のまちづくりの推進を図ることができました。						
	効率性評価	指定管理者と協力し、効率的に事業を推進しました。						
事業費	200,814,607		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			12,398,000	0	0	188,416,607		

主要事業No 111

主要事業No 111

161	款・項・目	8・4・6	目名称	土地区画整理事業費	目の決算額	759,311,143	161
	事務事業名称	土地区画整理事業					
	事業コスト(千円)	784,571	【うち人件費 24,265 うち減価償却費 846 】				
事業の目的	<p>対象（何を、誰を対象として） 現在施行中の土地区画整理組合</p> <p>目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が完了しています。</p>						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	/	令和2年度計画値	単位	
	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率		23.8	/	27.7	%	
	北山地区・横根平子地区の人口達成率		2.9	/	2.5	%	
実施内容	<p>土地区画整理事業の事業主体である組合に対し、事業計画に基づき円滑で健全に運営がされるよう指導及び補助金の交付を行いました。</p> <p>(1) 大府共和西地区【施行期間：平成10～令和2年度、面積：42.3ha】 令和2年6月12日に換地処分公告を行い、土地の地番変更や登記のほか、清算金の徴収・交付手続きを行い、事業完了に伴う組合の解散認可を、令和2年12月25日に県知事より受けました。令和3年9月の清算事務の結了に向け、残余財産処分などについて指導を行いました。</p> <p>(2) 大府横根平子地区【施行期間：平成28～令和7年度、面積：9.0ha、事業進捗率：38.2%】 組合が実施する整地工事、調整池や水路の築造工事、緑地や擁壁の詳細設計やため池の実施設計などについて指導を行い、実施事業に対し補助金を交付しました。 土地区画整理事業補助金 496,000,000円</p> <p>(3) 大府北山地区【施行期間：平成30～令和8年度、面積：23.7ha、事業進捗率：9.4%】 道路、調整池及び集合農地区の整備計画、また事業の資金計画並びに定款の変更について、令和2年4月1日に県知事より認可を受けました。さらには、換地予定地を関係地権者に通知する仮換地指定を令和3年3月16日に行いました。 組合が実施する土砂搬入工事、道路や整地の詳細設計などについて指導を行い、実施事業に対し補助金などを交付しました。 土地区画整理事業補助金 235,000,000円（うち35,000,000円はR1年度から繰越し） 国庫補助金市負担分 28,180,000円（補助対象事業費112,720,000円のうち市1/4負担） （うち当初額 12,500,000円、6月補正追加額 7,500,000円、3月補正追加額 8,180,000円）</p>						
事業の評価	妥当性評価	住環境の整備を推進する事業であり、組合の円滑で健全な運営を支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	優良宅地造成とともに、道路、緑地等を整備することにより、良好な住環境の実現に向けて着実に効果が上がりました。					
	効率性評価	市と組合が一体となって整備を進め、効率的にまちづくりを推進していくことができました。					
事業費	759,311,143		左の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			0	522,000,000	35,000,000	202,311,143	

162	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費	目の決算額	956,578	162	
	事務事業名称	宅地開発指導事業						
	事業コスト(千円)	22,196	【うち人件費 20,813 うち減価償却費 751 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 事業者及び工事施行者等							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 一定の基準をもって適正に指導するとともに、応分の負担を要請することにより、公共施設等及び良好な住環境の整備が行われています。							
評価指標	指標名				令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位
	事前協議申請件数				38	／	25	件
	宅地開発行為等調整会議回数				4	／	2	回
実施内容	建築、開発行政の事務 限定特定行政庁、事務処理市として建築確認や都市計画法等の審査を行いました。							
	1 申請等実績							
			H30	R1	R2			
	確認申請	四号建築物	3件	3件	5件			
		工作物	0件	0件	0件			
	都市計画法許可		93件	84件	70件			
	宅地造成等規制法許可		33件	30件	27件			
	事前協議		21件	16件	38件			
	宅地開発行為等調整会議		3回	2回	4回			
	建設リサイクル法届出		217件	164件	158件			
	地区計画区域内整備計画届出		110件	113件	73件			
	優良宅地認定		0件	0件	0件			
	長期優良住宅認定		151件	138件	125件			
	低炭素建築物認定		1件	3件	3件			
	後退用地要綱届出		63件	85件	61件			
	省エネ法届出		3件	3件	4件			
	研修会、協議会等出席		42回	40回	6回			
	2 監視等実績							
			H30	R1	R2			
	建築物等パトロール		20回	6回	9回			
造成工事等パトロール		10回	11回	1回				
建設リサイクルパトロール		2回	2回	1回				
※H30の建築物等パトロールにはブロック塀パトロールが含まれる為回数が多くなっています。								
事業の評価	妥当性評価	建築や開発行為に対する指導、監督という観点から市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	宅地開発等を行う者に対して、一定の基準を持って指導することは、公共公益施設及び良好な住環境の整備促進に有効です。						
	効率性評価	関係各課への回覧を電子化し審査の効率化を図ることで審査期間の短縮に努めました。						
事業費	左の財源内訳							
	603,856	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	603,856			

163	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費	目の決算額	956,578	163
	事務事業名称	公共施設管理営繕事業					
	事業コスト(千円)	1,120	【うち人件費 739 うち減価償却費 28 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 公の施設						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 予防保全事業を取り入れることにより事後保全事業を減らし、公共施設の長寿命化だけでなくライフサイクルコストの縮減を図ります。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	施設営繕データの更新		1	／	1	回	
				／			
				／			
実施内容	1 FM営繕計画システムによる市有施設の保全情報の一元管理 (1) 3月に各施設所管に短期修繕計画のヒアリングを実施しました。 施設所管課：14課 対象施設：58施設 ヒアリング内容：令和4年～令和6年度短期修繕計画 (2) 短期修繕計画のヒアリング及び現地調査に基づき修繕計画の優先順位付けを行いました。 (3) 営繕計画システムの在り方について検討し、システム廃止の方向で調整しました。						
	2 研究会、研修会及び協議会への参加 ファシリティマネジメント関連研修会等への参加 愛知県公共建築推進協議会：0回 ※新型コロナウイルス感染症のため開催されませんでした。						
事業の評価	妥当性評価	市が所有する膨大な施設をデータベース化で一元管理して計画的な保全を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	FM営繕計画システムを活用することで、膨大な施設の計画的な管理や建物に関する情報を保存することができました。しかしながら、各課においての個別計画が立案されているためシステムの活用については見直しが必要と思われます。					
	効率性評価	FM営繕計画システムを運用することで、ライフサイクルコストを意識した営繕計画の策定やメンテナンス費用の削減を図りました。しかしながら、各課においての個別計画が立案されているためシステムの活用については見直しが必要と思われます。					
事業費	左の財源内訳						
	352,722	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	352,722		

主要事業No 167

主要事業No 167

164	款・項・目	8・5・1	目名称	住宅管理費	目の決算額	136,666,511	164	
	事務事業名称	災害に強い住宅建設推進事業						
	事業コスト(千円)	21,265	【うち人件費 5,544 うち減価償却費 205 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 特に地震に不安のある民間住宅 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 地震に強い住宅への改善が行われ、災害に強い安全な住宅地が形成されています。							
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位		
	耐震診断実施件数		16	／	51	件		
	耐震改修工事実施件数		4	／	31	件		
実施内容	「大府市建築物耐震改修促進計画」に基づき建築物の耐震化を促進しました。 1 民間木造住宅無料耐震診断 16件 対象：昭和56年5月31日以前着工の民間木造住宅 2 民間木造住宅耐震改修費補助 4件 対象：耐震診断判定値が1.0未満の民間木造住宅 民間木造住宅診断及び改修実績（1.5、1.0、0.7は耐震診断の判定値）							
	年度	診断 件数	安全 1.5以上	一応安全 1.0以上 1.5未満	やや危険 0.7以上 1.0未満	倒壊の 危険あり 0.7未満	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数 高齢者 市内業者
	～H29	1,438	9	98	272	1,059	307	77 32
	H30	30	0	0	0	30	13	8 10
	R1	16	0	0	0	16	7	3 5
	R2	16	0	0	0	16	4	3 4
	合計	1,500	9	98	272	1,121	331	91 51
	割合	—	0.6%	6.5%	18.1%	74.7%	—	—
	3 民間非木造住宅耐震診断・耐震改修費補助 耐震診断費補助：0件 耐震改修費補助：0件 4 広報やローラー作戦による耐震診断、改修案内の実施							
			H30	R1	R2			
広報掲載回数		1回	1回	1回				
ローラー作戦		共和東自治区地内等	共和西自治区地内等	共和東自治区地内等				
無料相談会		1回(2組)	1回(4組)	1回(3組)				
5 研修会参加等による体制づくり 研修会等：2回 6 民間建築物吹付けアスベスト等調査費補助：0件 7 耐震シェルター整備費補助：0件 8 三世帯住宅支援事業費補助：8件 9 ブロック塀等除却費等補助：22件 10 大府市建築物耐震改修促進計画（計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年間）を策定しました。								
事業の評価	妥当性評価	建築物の耐震改修の促進に関する法律により、各公共団体が計画的に耐震化を進める必要があると定められており、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	木造住宅の無料耐震診断や耐震改修費補助を実施することにより、既存住宅を安心して安全に有効利用できるようになりました。						
	効率性評価	地元との調整を事前に行うことにより、ローラー作戦等を効率的に実施することができました。地元建築士の協力を要請することにより、無料相談会を開催できました。						
事業費	左の財源内訳							
	15,508,940	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		8,019,800	0	0	7,489,140			

165	款・項・目	8・5・1	目名称	住宅管理費	目の決算額	136,666,511	165																							
	事務事業名称	市営住宅管理・整備事業																												
	事業コスト(千円)	150,190	【うち人件費 11,297 うち減価償却費 82,388 】																											
事業の目的	対象(何を、誰を対象として) 市営住宅																													
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 高齢者・障がい者等に配慮した、利用しやすく良好な魅力ある市営住宅の改善を行い、適切に管理されています。																													
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位																								
	入居募集戸数		11	／	15	戸																								
	建築物保全に関する住宅工事・修繕件数		90	／	80	件																								
				／																										
実施内容	市営住宅管理戸数292戸																													
	<ol style="list-style-type: none"> 施設改修工事・委託 <ol style="list-style-type: none"> 富士見住宅始め3住宅エレベーター安全装置改修工事 殿ノ前住宅4号棟屋上防水改修工事 施設維持管理委託 消防設備点検、浄化槽保守点検、エレベーター保守点検、污水管清掃、遊具点検、樹木せん定・除草、給水設備保守点検等 施設整備修繕 給水装置等修繕、施設・設備老朽化による修繕(61件)、退去修繕(29件)、退去修繕に合わせて住戸内バリアフリー化(4件) 市営住宅空家募集 <table border="1" data-bbox="311 1064 1181 1227"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>募集戸数</td> <td>13戸(18戸)</td> <td>11戸(15戸)</td> <td>16戸(20戸)</td> <td>11戸(14戸)</td> <td>9戸(11戸)</td> </tr> <tr> <td>応募者数</td> <td>40人(66人)</td> <td>38人(61人)</td> <td>36人(60人)</td> <td>19人(27人)</td> <td>23人(36人)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※カッコ内は福祉枠を含む</p> 住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画の改訂 第2次大府市住生活基本計画及び第2次大府市公営住宅等長寿命化計画を策定しました。 その他 家賃口座振替(継続) H28:174戸 H29:175戸 H30:164戸 R1:180戸 R2:179戸 住宅相談対応(公営住宅入居希望等相談、入居者の要望・苦情等) 								H28	H29	H30	R1	R2	募集回数	2回	2回	2回	2回	2回	募集戸数	13戸(18戸)	11戸(15戸)	16戸(20戸)	11戸(14戸)	9戸(11戸)	応募者数	40人(66人)	38人(61人)	36人(60人)	19人(27人)
	H28	H29	H30	R1	R2																									
募集回数	2回	2回	2回	2回	2回																									
募集戸数	13戸(18戸)	11戸(15戸)	16戸(20戸)	11戸(14戸)	9戸(11戸)																									
応募者数	40人(66人)	38人(61人)	36人(60人)	19人(27人)	23人(36人)																									
事業の評価	妥当性評価	公営住宅法の定めにより、市営住宅の整備及び管理については、市が実施すべき事業です。																												
	有効性評価	修繕を始めとした入居者からの要望等に対して迅速な対応を心掛け、適正な管理に努めたことにより、良好な住環境の形成に寄与することができました。																												
	効率性評価	各住宅の入居者や自治会の協力により管理業務委託、修繕及び工事を効率的に実施することができました。																												
事業費	左の財源内訳																													
	74,309,995	国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
		12,949,000	0	50,126,946 (基金 736,362)	11,234,049																									